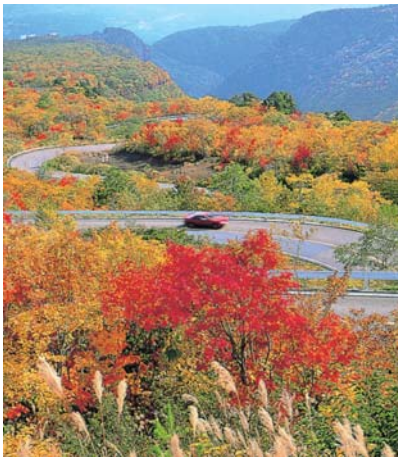


蔵王エコーラインをドライブしながら「滝めぐり」を楽しもう。

蔵王エコーラインは、蔵王連峰を東西に横断し、宮城県と山形県を結ぶ観光山岳道路で、昨年開通50周年を迎えました。4月下旬の開通から5月中旬頃までは雪の壁、夏にはマインスイオンたっぷりの新緑を浴びながらのドライブが楽しめます。

そして9月下旬からは、赤や黄色に燃える紅葉のメッカとして全国的にも有名です。

この蔵王エコーライン沿いには、大小さまざまな滝があり、ドライブの途中に滝めぐりを楽しむことができます。見どころは日本の滝百選にも選ばれている三階滝、蔵王山中でも水量が多い不動滝、そして地蔵滝の3つを同時に眺めることができます。紅葉の時期は絶好の景観ポイントとなっています。



蔵王山頂にある「御釜」は、円型の火口湖で、形が釜状のため「御釜」と名前が付きました。蔵王エコーラインから蔵王ハイラインを登り切ったところにある、蔵王山頂レストハウスの駐車場から歩いて2〜3分で御釜を眺める展望台に到着します。

天気の良い日は、遠く太平洋を望むことができます。冬の樹氷と共に蔵王のシンボルとなっています。



御釜

蔵王刈田岳・熊野岳・五色岳の3峰に抱かれた円型の火口湖で、周囲1km、直径330mあります。太陽光線の当たり方で様々に色を変えるため、「五色沼」とも呼ばれています。



三階滝

細く3段に流れ落ちる三階滝は、日本の滝百選に選ばれており、高さ181m、幅7m、滝つぼが12mあります。特に紅葉時の眺望は息をのむ美しさです。



不動滝

蔵王山中の瀑布のうち、最も規模の大きな滝で、高さ53・5m、幅16m、滝つぼが32mあります。水量が多く、しかも深山の中の滝といった趣があり、数多くの文人墨客に親しまれています。

日本の森・滝・渚全国協議会

日本の森・滝・渚全国協議会は、森林浴の森全国協議会、日本の滝全国協議会及び日本の渚全国協議会の統合により、平成十九年に発足した全国協議会です。魅力ある自然環境資源を効果的に活用し、地域相互の連携により情報の集積を図り、地域の活性化や知名度向上に取り組んでいます。

蔵王町ふるさと文化会館（ございんホール）

